

別 表 1

平成 28 年度使用義務教育諸学校(中学校)の教科用図書の
採択基準及び基本観点

本表に示す採択基準及び基本観点に基づいて、採択権者は各発行者の教科用図書を調査、研究した上で採択すること。

| 採 択 基 準 | 基 本 観 点 |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1) 全体としての特徴や創意工夫 |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。 | (1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 |
| | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 |
| | (3) 生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮 |
| | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い |
| | (5) 他の教科等との関連 |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。 | (1) 表記・表現の工夫 |

<留意事項>

学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合は、平成24年6月22日付け平成24年度京都府教科用図書選定審議会答申「選定に必要な資料について」により作成された選定資料に基づいて行うこと。

その場合、「平成28年度使用教科用図書(特別支援学級、特別支援学校(小・中学部))の採択基準及び基本観点について」は別表2によるものとする。